

## 平成29年度 事業報告書

2017年4月1日から2018年3月31日まで

特定非営利活動法人 市民科学研究室

## 1 事業の成果

- ・立正佼成会「一食（いちじき）福島復興・被災者支援」事業「福島県からの避難を理解するための福島県外での子ども向け放射線リテラシーワークショップの実施」
- ・科学技術社会論学会からの特別賞受賞に伴う講演を含む講演活動12回、学会などでの研究発表8回（日本臨床環境医学会、日本公衆衛生学会、ベルギーとの共同研究での発表、東京理科大研究会で発表など）
- ・事務所共有スペースを使った科学コミュニケーションなどに関わるイベント企画「十一人劇場」の立ち上げと実施（9回）
- ・電磁波、化学物質、健康、消費者教育問題等に関する取材、インタビュー、論文執筆など20数件

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額（千円）
科学技術に関連する市民学習講座などの教育事業	各種メディア取材、ファシリテーション、魚菜学園ならびにNPO法人ポラン広場東京との提携で「子ども料理科学教室」、福島県に出張しての放射能に関する授業などを計11回行った。その他、科学技術に関する市民に向けての講演会を12回行った。市民参加型のイベントである「市民科学講座」A・Bコース、「市民科学談話会」「十一人劇場」などを計17回実施した。	多数	文京区内の生涯学習施設や渋谷区の「光塾」などの施設他	30人	科学技術に関心のある市民多数	680,000
科学技術に関連する調査研究事業	電磁波、科学コミュニケーション、低線量被曝、食、防災、Bending Scienceに関する調査研究を行った（研究会など39回）。取材・フィールドワーク等を随時実施した。	4月より随時	法人事務所	30人	不特定多数	110,000
科学技術に関連する出版物、ホームページなどによる広報事業	機関誌『市民研通信』を第40～43号の4冊を発行し、ウェブサイトにて情報提供した。総計24本の記事論文を執筆し、ホームページで公開した。	4月から3月まで	法人事務所	20人	会員及び科学技術に関心のある市民	320,000

<p>一食（いちじき）福島復興・被災者支援」助成事業</p>	<p>立正佼成会「一食（いちじき）福島復興・被災者支援」事業「福島県からの避難を理解するための福島県外での子ども向け放射線リテラシーワークショップの実施」での2回のワークショップ、ならびにその成果を生かしての1回の中学校授業と1回の講演</p>	<p>4月から3月まで</p>	<p>法人事務所 および世田谷区などの施設 他</p>	<p>4</p>	<p>福島事故や放射能問題に関心のある市民・学生（小学生から大学生）100名程度</p>	<p>1,000,000</p>
--------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------	-------------------------------------	----------	----------------------------------------------	------------------